

三幸通信

～3分で読める!! 現場で役立つ介護情報～

介護現場を支えてくださっている皆様のお力になれるよう、三幸福祉カレッジより情報をお届けします。

今号のテーマ▶外国籍の介護職員とのコミュニケーションのポイント～伝わる指導が定着につながる～

外国籍の介護職員が増える中、「説明したつもりでも伝わっていない」「指導がうまく伝わらない」と感じることはありませんか？

日々のコミュニケーションは、安心して働ける環境づくりや定着にもつながります。

今回は、現場ですぐに実践できる4つのポイントをご紹介します。



1 外国籍介護職員への“伝わりにくさ”の背景を知ろう

- ☑ 日本語は漢字・ひらがな・カタカナなど文字の種類が多い
- ☑ 介護現場では専門用語や独特な表現が多く使われる
- ☑ 敬語や「あれ・それ」など曖昧な表現は伝わりにくい
- ☑ 方言や職場独自の言い回しも理解が難しいことがある



相手の文化や背景を理解し、「伝わる工夫」を意識することが、信頼関係づくりの第一歩です。

2 コミュニケーションのポイント

① ゆっくり、はっきり話す

相手が聞き取りやすいはやさで声で伝える。

② 「です」「ます」、「丁寧語」を使う

相手に敬意を払いつつ、もっとも伝わりやすい。



③ 文末の統一

「〇〇してください。」「〇〇できます。」等、明確で分かりやすい文末にそろえて伝える。

④ シンプルに言う(単文を心がける)

一度にたくさん伝えず、1文を短く。



⑤ 質問をして、理解を確認する

わかりましたか？だけでなく、次に何をするか、本人の言葉で確認する。



すぐに実践!!

「はさみの法則」で誰でもできるやさしい日本語

発音を

「は っきり言う」



文末まで言い切る

「さ いごまで言う」

一文を短く!!一文に1つの意味

「み じかく言う」

3 指導のポイント

- ☑ OJTで介護場面の判断を練習
- ☑ 「してはいけない対応」を現場で確認
- ☑ 介助場面を「なぜそうするのか」言葉にして確認
- ☑ 職場全体で応援する空気をつくる

三幸福祉カレッジ 実務者研修

私たち三幸福祉カレッジの講師(約700名)もやさしい日本語に関する研修受講・勉強会を通じて学習し、外国籍受講生に分かりやすい言葉を意識しています。外国籍受講生を招いた勉強会の様子👉



4 外国籍職員の定着・成長のために

一人ひとりに寄り添ったコミュニケーションと指導で、外国籍の介護職員の定着・成長をサポートしましょう!!



信頼関係づくり

日頃から声をかけ、質問・相談しやすい関係づくりをする。



「伝わる」工夫

短く具体的に、見せながら伝え、理解できたか確認。



一人ひとりの日本語能力を把握

レベルや得意・不得意に合わせて伝え方を工夫。



継続的なサポート

できたことや成長も伝えながら、継続的なフォローをする。



実務者研修修了生数No.1

三幸福祉カレッジ

※厚生労働省一般教育訓練給付制度・専門実践教育訓練給付制度令和5年度実務者研修

三幸福祉カレッジ



ホームページは[こちら](#)▶▶

